

研究タイトル：豊かな建築空間と屋内外共用空間の創



氏名：	吉岡 聡司／YOSHIOKA Satoshi	E-mail：	satoyoshioka@kochi-ct.ac.jp
職名：	教授	学位：	博士(工学)
所属学会・協会：	(一社)日本建築学会		
キーワード：	建築計画, 建築設計, ランドスケープ, まちづくり, ユニバーサルデザイン		
技術相談 提供可能技術：	・建築やまちづくり、ランドスケープの構想／計画やコンペ要綱作成への助言、審査等 ・バリアフリーやユニバーサルデザイン、ノーマライゼーションに関する設計方針や、考え方についての助言 ・サインやグラフィックのデザイン監修		

研究内容：

◆概要

豊かな建築空間や広場、街路空間と人の活動やふるまい、および計画・設計手法に関する研究を行っています。特に屋内外をつなぐ空間はコモン(共用空間)として重要であると考えて、公共施設の共用空間のあり方と使われ方や人の感じ方の関係に注目しています。また、高知の風土に適合する建築にも研究領域を広げつつあります。

◆研究テーマやその成果の例

(1) キャンパスの全体計画監修

2008～2022 年度、大阪大学のキャンパスの計画監修において多くの屋外空間と建築の基本構想～基本設計を担当しました。

箕面キャンパス(2021 移転開学。旧大阪外国語大学)移転事業では、事業コンセプトの立案、設計の監修、行政・市民・企業等との折衝・調整に中心的に関与しました。

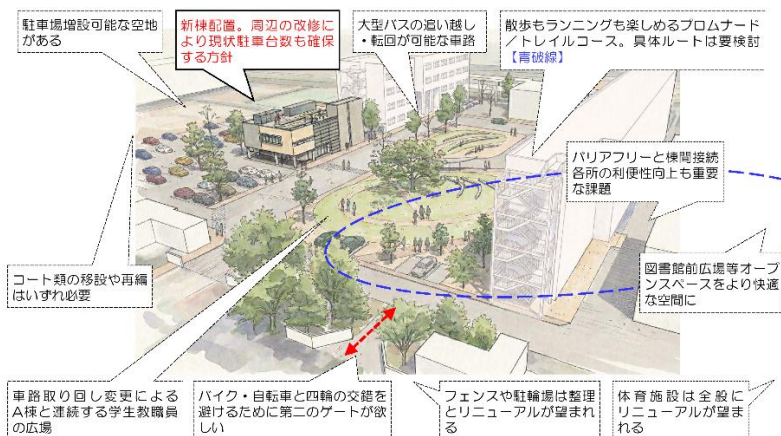


(2) 公共施設の計画に関する監修、助言、審査等

兵庫県西宮市こども未来センター(2015 年竣工)の計画では、肢体不自由児通所施設である旧わかば園(現在はセンターの一部)の調査・研究に中心的に関わり、設計プロポーザルの審査でも副座長を務めました。

(3) 2025(R7 年度)の建築学会における活動、ならびに行政の委員会への参加等

- ・「キャンパスマスタープランが大学施設と都市に与えた影響と展望～第1回都市の新たな価値実体化シンポジウム」(日本建築学会 都市計画委員会 新たな都市の価値実体化小委員会 主催)の、企画・まとめ・幹事
- ・統合中学校施設事業に関する委員会(室戸市)
- ・新複合交流施設事業に関する委員会(安芸市)
- ・高知高専における新棟整備推進室会議議長、基本計画とりまとめ(特命校長補佐)



(4) 2025(R7 年度)の卒業研究指導

- ・「近年竣工した高知県下の公共図書館における夏休みの利用行動に関する研究」
- ・「通行量・行動観察調査による高知市における街路市の実態に関する研究」
- ・「保育所建築の内装における木質と非木質が利用者にと与える印象の差異に関する研究」
- ・「高知県における高校の体育館の利用状況に関する研究」

キャンパスの中長期的イメージ図
(両イメージ図とも、推進室会議＋イナガキケンチュクケンキュウシヨ)